

おおむた 市議会だより

第229号

令和6年度
6月議会

令和6年(2024年)9月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年度分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



【主な記事】

◎子育てしやすいまちづくり 学童保育所の充実・強化前進！／ぎかいの話題(2、3ページ)

◎園児からの贈り物(11ページ)

◎議会報告会・意見交換会を開催しました／ぎかいの話題(12ページ)



暑さにも負けない「ちびっこ大蛇」

子育てしやすいまちづくり

学童保育所の充実・強化 前進！

「学童保育所に入所を申し込んでも入れない」、「預かり時間の延長をしてほしい」、「夏休みなど長期休暇時のみ入所したい」といった多くの市民の声を受け、大牟田市議会では、これまで様々な意見・要望等を行ってきました。

市議会からの意見・要望等

これまで市議会では、学童保育所の充実・強化について、保護者、学童保育関係団体、所管部局との意見交換や委員間討議を重ね、まちづくり・活性化特別委員会等において意見・要望を集約し、市長に市議会の総意として「待機児童の解消や利用時間の延長」などの要望を続けてきました。

〈参考〉

平成29年11月に市議会の総意として市長に提出した要望

学童保育所・クラブについては、地域の特性に応じて、民間の施設等地域資源も有効に活用しながら、待機児童の解消を図ってほしい。

また、平成29年度に実施したアンケート調査を早急に分析・検証し、さらなる充実に向け、利用時間の延長を含め、平成30年度予算への反映に努めてほしい。

その結果、市では、預かり時間の延長、夏休み預かりモデル事業及び施設の整備などの取組が進められ、議会としても関連する条例、予算等を可決しました。

これは、議会基本条例に基づき、市議会として政策形成機能を高め、市民の声を市政に反映させるという議会の在り方を実現した一例です。

三池学童保育所
落成式（4月13日）



銀水第2学童保育所
落成式（4月13日）



天領学童保育所
落成式（5月11日）



三池学童保育所 令和6年4月開所

具体的な取組状況

施設整備状況と待機児童数

市では、学童保育所の建て替えや新設を進めています。

■令和6年開所

- ・三池学童保育所(建て替え)
- ・銀水第2学童保育所(新設)
- ・天領学童保育所(新設)

■今後の開所予定

- ・大牟田中央校区(笹林公園内に新設)
- ・手鎌校区(手鎌学童保育所の建て替え)

■市内学童保育所・学童クラブの定員

令和5年度800人 → 令和6年度960人

■学童保育所の待機児童数

令和6年7月現在：23人



木造2階建てで、延べ床面積が約300平方メートル。室内は、開放的で、木の香りが漂うゆったりとした作り（三池学童保育所）。



学童保育所の設備等

預かり時間の延長を実現

預かり時間を18時から19時に延長

「帰りの時間が間に合わない」、「預かり時間の延長をしてほしい」といった多くの保護者の声を受け、市議会では何度も預かり時間の延長を要望してきました。

その結果、令和5年度からは、これまでの預かり時間から1時間延長され、19時までとなりました。

夏休み期間中の小学生の預かりもはじまる

夏休み児童預かりモデル事業は、令和5年度から、2施設(若草幼稚園、高取聖マリア幼稚園)で開始されました。

令和6年度には、新たに1施設(光の子幼稚園)が追加され、3施設で実施されています。

内覧会と状況説明の様子

学童保育所の開設に当たり、完成施設の内覧会に参加し、市から建物や取組状況等について説明を受けました。



市議会としての今後の対応

学童保育所については、今後も市議会として待機児童の早期解消が実現するよう、経過を注視していきます。

また、子育てがしやすい環境の充実に向け、市民の意見を聞きながら、引き続き意見・要望を行っていきます。

本会議運営のあらまし

令和6年度大牟田市一般会計補正予算など可決

6月議会

令和6年度6月議会は、6月17日に招集され、6月28日までの12日間の会期で運営しました。

6月議会で審議した議案等は、専決処分の議案2件、一般会計補正予算などの予算議案3件、大牟田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正などの条例議案8件、財産の処分について1件、予算の繰越し等についての報告8件、意

見書案の発議8件及び大牟田市固定資産評価員の選任の議案1件の計31件でした。

本会議では、子育て支援、学校教育の現状、教育環境整備、三池港の利用促進、まちなか再生・再開発、ジェンダー平等、人口減少対策、市庁舎の整備などの諸課題に10人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

本会議最終日までに、意見書案の発議2件を除いた議案、発議をそれぞれ承認、可決、同意して本会議を閉会しました。

議会日誌（4月～7月）

- 【4月】 9日 広報広聴委員会広報部会
10日 広報広聴委員会広聴部会
24日 各派代表者会
26日 都市環境経済委員会
- 【5月】 15日 広報広聴委員会広聴部会
21日 議会運営委員会
- 【6月】 10日 各派代表者会、議会運営委員会
11日 総務委員会
12日 市民教育厚生委員会
13日 都市環境経済委員会
17日 本会議〔開会〕、広報広聴委員会広報部会
21日 本会議〔質疑質問〕
24日 本会議〔質疑質問〕
25日 本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会、
広報広聴委員会広聴部会
26日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
28日 各派代表者会、議会運営委員会、本会議〔採決、閉会〕
広報広聴委員会広報部会
- 【7月】 17日 広報広聴委員会広聴部会
18日 市民教育厚生委員会

インフォメーション①

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画（過去5年度分）を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで9月上旬から閲覧できる会議録をご覧ください。

ホームページでも9月上旬から閲覧・検索できます。



委員会メモ



大牟田市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について

【総務委員会】

6月11日の委員会で、市の条例等で規定されている書面による行政手続（市の機関等に対して行う申請、届出等、市の機関等が行う処分通知等、縦覧・閲覧等）について、情報通信技術を活用し、従来の書面等に加え、オンラインによる申請や届出を可能にするため、条例を制定する旨の説明を受けました。

大牟田市子ども読書推進計画の改訂について

【市民教育厚生委員会】

6月12日の委員会で、大牟田市子ども読書推進計画の第四次計画（令和7年度～令和11年度）の策定を行う旨の説明を受けました。

同計画の策定に当たり、幼児の保護者、小・中学生とその保護者、高校生及び読書ボランティアを対象に、子どもの読書活動に関するアンケート調査を実施します。

また、パブリックコメントを令和7年1月に実施する予定です。

運送事業者等への支援

【都市環境経済委員会】

6月13日の委員会で、物流の2024年問題及び燃料価格の高騰に直面している運送事業者等に対し、地域の移動・物流の維持に向けた事業継続を応援するため、支援金を支給する旨の説明を受けました。

対象業種は、トラック運送事業、貸切バス事業、タクシー・介護タクシー事業及び自動車運転代行業で、申請期間は令和6年9月末までの予定です。

議案等の審議結果

議 員 名 議 案 等 名		自由民主党市議団										民主・護憲クラブ					公明党議員団					無所属			賛 成 数	審 議 結 果
		森 遵	江 上 し ほ り	桑 原 誠	徳 永 春 男 （議 長）	豊 福 達 也	中 原 誠 悟	光 田 茂	森 竜 子	山 口 雅 夫	松 尾 哲 也	奥 村 橋 倫	櫻 井 ち は る	船 原 基 近	古 庄 和 秀	森 田 義 孝	大 野 哲 也	塩 塚 敏 郎	平 山 伸 二	三 宅 智 加 子	山 田 修 司	北 岡 あ や	崎 山 恵 子	山 田 貴 正		
発議 第1号	自民党派閥裏金問題の真相の徹底解明と 実効性ある再発防止策の確立を求める 意見書案	×	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決
発議 第2号	訪問介護の基本報酬引下げの撤回等を 求める意見書案	×	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決
発議 第3号	地方財政の充実・強化に関する意見書案	×	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	13	多数可決
発議 第4号	教職員定数改善と教育予算の拡充を求 める意見書案	×	×	×	－	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	13	多数可決
発議 第5号	下水道の維持管理・更新におけるウォ ーターＰＰＰ導入に向けての丁寧な対 応を求める意見書案	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	多数可決
発議 第6号	地域における「こども誰でも通園制度」 の制度拡充等を求める意見書案	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	多数可決
議案 第6号	大牟田市個人番号の利用及び特定個人 情報の提供に関する条例の一部を改正 する条例の制定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	多数可決

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で承認、可決、同意。

議案 第1号	専決処分について(令和5年度大牟田市一般会計補正予算)
議案 第2号	専決処分について(大牟田市市税条例の一部を改正する条例)
議案 第3号	令和6年度大牟田市一般会計補正予算
議案 第4号	令和6年度大牟田市水道事業会計補正予算
議案 第5号	令和6年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
議案 第7号	大牟田市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について
議案 第8号	大牟田市市税条例の一部を改正する条例の制定について
議案 第9号	大牟田市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について
議案 第10号	大牟田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案 第11号	大牟田市学童保育所条例の一部を改正する条例の制定について
議案 第12号	大牟田市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案 第13号	大牟田市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案 第14号	財産の処分について(新大牟田駅産業団地産業用地)
議案 第15号	大牟田市固定資産評価員の選任について〔桑原正彦氏〕
発議 第7号	聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書案
発議 第8号	災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書案

子育て世代に魅力的なまちづくりを目指して



動画視聴



民主・護憲クラブ
奥村 橋倫 議員

子育て支援の 考え方について

問 今後の子育て世代に魅力的なまちづくりについて、市長の考えは。

答 子ども・子育て当事者の声を十分聴きながら、市民、地域、事業者の皆さんと一体となって子育て世代に魅力的なまちの実現に取り組みたい。

問 子ども医療費助成拡充の内容とその影響額は。

答 3歳未満までの子どもの入院及び通院医療費の自己負担額が無料となっているものを小学校就学前まで拡充する。就学後から中学生までの入院医療費の自己負担額は1日につき500円から無料にし、通院医療費の自己負担額は1医療機関一月につき1,200円から500円に引き下げる。

拡充に伴い、年間約4,500万円の予算増を見込んでおり、令和7年1月の実施を予定している。

子ども見守り隊の サポート体制

問 子ども見守り隊の現状把握と必要性をどのように考え

ているのか。

答 子供たちの登下校時に防犯及び交通安全等に係る見守り活動を実施していただいていることで、事故防止や事件の抑止につながり、地域で安心して安全に暮らせるまちづくりの推進に寄与しているものと考えている。

再発言 子ども見守り隊の高齢化と担い手不足が大きな課題。子ども見守り隊への支援の拡充をお願いしたい。



夜間中学の今後の展望

問 開校し2か月経過したが、新たに見つかった課題等は。

答 学習経験の異なる10代から80代までの幅広い年代の生徒が学んでおり、生徒1人1人に応じた学習指導や進路指導が必要。また、廊下やトイレに手すりをつけ、照明を改善するなど、環境を整えている。

今後も、市内の様々な学習ボランティア等と連携し、教育環境の充実に努める。

問 県外や市外からの生徒の

受入れについて協議は進んでいるのか。

答 他の市町との調整を図るための協議会の設置について、福岡県教育委員会と協議を行っている。

市庁舎の今後の取扱い

問 大牟田市庁舎整備基本構想策定審議会の議論の経過や今後の予定は。

答 5月までに3回の審議会を開催しており、第1回の審議会では、庁舎整備に関するこれまでの検討経過とともに、各既存庁舎の耐震性の状況や新基本方針で定めた基本的な考え方を説明。第2回、第3回では、新庁舎整備に当たっての基本理念や新庁舎の規模、各既存庁舎の取扱いなどについて審議を行った。

次回以降は、新庁舎の敷地、事業手法や事業スケジュール、概算事業費及び今後の進め方などについての審議を予定している。

問 本庁舎の耐震化の整備は。

答 計画的な改修工事や耐震工事などの大規模な改修は予定していないが、新庁舎整備までには一定の時間を要することから、これまでと同様に安全対策など、必要な修繕等を行っていききたい。

再発言 本庁舎の耐震性能が不足しているのであれば、早急に対応する必要がある。全ての来庁者や働く職員の安心・安全につながる対策をお願いしたい。

誰もが安心して安全に元気に暮らせるまちづくりを目指して



動画視聴



公明党議員団
山田 修司 議員

学校給食費の公会計化

問 本市の小・中・特別支援学校の給食費について、未納の徴収対応等、教職員の負担軽減の観点から、学校給食費を公会計化する考えは。

答 本市の学校給食費は、私会計で運営している。給食費は原則口座振替により徴収し、その給食費は市の学校給食会に納入され、学校給食会が食材料の選定や発注、支払いを一括して行っている。

このように、本市では文部科学省の学校給食費徴収・管理に関するガイドラインに掲げられる内容について、既に多くの面で実質的に公会計と同様に取り組んでいる。

給食費の公会計化については、現在の役割分担の在り方にも関わることから、引き続き公会計化に係る情報収集に努め、他市の状況等も注視したいと考えている。

再発言 給食費の未納対応等、必ずしも教師がやらなくてもいいものから負担を減らし、子供のために勤務時間を使っていただくよう要望する。

問 学校給食費の公会計化は、関市長のリーダーシップをお願いしたいが、市長の見解は。

答 教職員の働き方改革を進め、教職員

がワーク・ライフ・バランスを保ちながら、子供たちとしっかり向き合うことは大事だと考える。

給食費の徴収は、原則口座振替で実施しており、以前と比べると負担軽減になってきているのではないかと考える。

さらに、透明性の面でも、学校給食会の会長は教育長であり、しっかりチェックができていていると考える。

まずは、他市の例などもしっかり情報収集し、教育委員会と協議していきたい。



七夕献立（そうめん汁と星型コロケ）

夜間中学ほしぞら分校

問 令和6年4月開校の夜間中学ほしぞら分校において、給食を実施する予定はあるか。

答 夜間中学の開校に当たり、給食提供に係る検討を行ったが、夜間中学は幅広い年代の

生徒が就学するため、食事の嗜好や必要な量、給食提供に関する希望も様々であることが想定されることに加え、夕方からの限られた時間の中で給食提供時間を十分に確保できない状況が考えられる。このため、夜間中学においては開校当初からの給食を実施しないこととした。

当面は、生徒の就学状況や休憩時間の様子などを確認していきたい。

問 夜間中学ほしぞら分校という新しい学校ができたが、校歌もしくは愛唱歌はあるか。

答 夜間中学ほしぞら分校は、宅峰中学校の分校となるため、校歌は宅峰中学校の校歌となる。愛唱歌については、ほしぞら分校に通う生徒からの要望があった場合に検討したい。

軟骨伝導イヤホンの導入

問 耳周辺の軟骨の振動を通して音が聞こえる軟骨伝導イヤホンが、自治体の窓口を導入され始めている。本市の窓口でも、利便性向上の観点から導入の考えはあるか。

答 現在、福祉課各担当の窓口では、補聴器の利用者や難聴など、音が聞こえづらい人の聞き取りを助ける補聴支援システムである磁気ループを導入している。

軟骨伝導イヤホンについては、窓口の利便性向上を図る観点から、先行して導入している自治体の活用状況等を情報収集したい。

新庁舎建設に向けた決意



そのため、今年度、基本構想策定を終え、基本計画、基本設計及び所定の法手続等を丁寧かつ迅速、着実に進める。

毎日通信確認を行い、点検をしている。しかし、大雨時に室内では聞こえにくいという弱点があることから、情報伝達の多様化を図り、一つの方法が利用できずとも、他の方法で伝達ができるよう取り組んでおり、様々な伝達手段を市民に周知することが重要と考えている。

毎日の試験放送については、既に取り組んでいる他自治体の状況を調査し、屋外拡声器を設置している施設管理者、地域等の意見を伺っていく。

まちなか再生未来ビジョン

問 官民連携まちなか再生推進プラットフォームからの提言である大牟田まちなか再生未来ビジョンについて、今後どのように取り組むのか。

答 今後20年を目標としたまちなかの魅力創出及び活力の維持・向上のため、公・民・学で共有するエリアの将来像とその実現のための取組指針として提言されたもの。将来像の実現に向け、関係団体と十分に連携し、まちなかの再生・活性化に取り組む。

新庁舎基本構想策定

問 新庁舎整備に向けた市長の決意は。

答 全国的に地震や水害などの大規模災害が頻発していることから、災害対策の拠点となる庁舎の重要性を改めて認識している。

また、昨今の建設資材の高騰や人材不足により、整備費用の上昇は今後も継続することが想定されることから、新庁舎整備は早急に進めたい。

ライティングによるまちづくり

問 帝京大学より、大牟田駅西口から学校までの街路灯設置の要望を受け、ライティングを生かした魅力的な街路灯を設置すべきと考えるが。

答 岬町地区は、イオンモール大牟田、諏訪公園や石炭産業科学館等が立地し、有明海沿岸道路によるアクセスの良さから、広域的に人が集い、交流するエリアとなっている。

また、令和7年冬には、ルートインホテルが進出するなど、今後さらなる地域経済活性化の核となることが期待される。

このため、要望については、まちの魅力向上の観点も盛り込みながら、街路灯の整備に向けた取組を進めたい。

災害に強いまちづくり

問 他自治体では、防災行政無線の機器点検や試験放送を兼ねて、定時のサイレンや音楽を放送している。本市でも同様の取組が必要ではないか。

答 防災行政無線の動作は、



三池港の利用促進

問 次期コンテナ船の航路は、現在より深い水深が必要となるようだが、水深確保の対応が早期に必要なではないか。

答 船社から、現在の船は令和10年に廃船予定であり、次期コンテナ船は大型化されることから、より深い水深が必要と説明を受けている。

水深確保には、現在の浚渫事業を加速する必要がある、福岡県とともに、国に事業の促進を強く要望したい。

再発言 福岡県とともに、国への要望をお願いする。



動画視聴

民主・護憲クラブ
船原 基近 議員

本市の教職員不足の現状

- 問** 早期退職教諭・教頭数と管理職などの降任希望者数は。
- 答** 令和5年度早期退職者は、教諭が8名、管理職が3名。

管理職からの降任希望者は1名、主幹教諭・指導教諭からの降任は3名となっている。

教職員の働き方改革の進捗状況等

- 問** 教頭の超過勤務状況は。
- 答** 一月当たり80時間超過者は、令和5年度20名、4年度19名、3年度21名、100時間超過者は、令和5年度13名、4年度15名、3年度13名である。
- 問** 労基法36協定締結状況は。
- 答** 現在、学校事務共同事務室の室長と協議している。

- 問** 提言シートの取組状況は。
- 答** 提言シートは、校長の学校経営に対し、教職員が建設的な意見を書面にて申し出るもので、昨年度は4件の提出があり、各学校の学校経営や教育施策に反映させている。

本市職員数の不足状況

- 問** 課長級職員の主査事務取扱いの改善策は。
- 答** 課長がマネジメント業務に注力できるよう、体制の見直し等に取り組みたい。



動画視聴

公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の構築

- 問** DVや生活困窮などの困難を抱える女性への支援は。
- 答** 女性の自立のため、福祉・子育て・教育・住居等の関係

機関との情報共有を行い、切れ目ない支援を進めている。特にDVは、警察と被害者の安全確保に取り組んでいる。

再発言 厚生労働省の女性支援特設サイト「あなたのミカタ」の一層の周知を。

教育環境整備

- 問** 英語力はビジネスなど現代では必修だが、小学生の英検受験料助成費の削減理由は。
- 答** 英語検定5級レベルは学習指導要領の範囲を超えてお

り、児童にとって高いハードルだった。児童のモチベーションを高める上でも課題であったため、助成を見直した。

- 再発言** 改めて小学生への受験料助成を要望する。
- 問** 熱中症対策としてウォータークーラー設置の必要性は。
- 答** 熱中症には小まめな水分補給が予防策となる。児童生徒は水筒を持参し各自の体調に合わせて水分補給している。
- 再発言** 熱中症を防ぐ上で、水分補給として口にする水温は最も重要。設置の検討を。



動画視聴

自由民主党市議員
豊福 達也 議員

市長の政治姿勢 ～子育て支援の周知と施策～

- 問** 現状が妥当であるのか、視野を広げて考えてほしい。保育料等における本市独自の子育て世帯への軽減、特に多

子世帯への負担軽減等について、今後の考えは。

答 国に対し、福岡県市長会を通じて、子どもの年齢によらず、多子世帯の保育料を軽減するよう要望を行っている。本市独自の負担軽減を行うかについては、必要な費用や財源等を踏まえ、判断していく。

再発言 多子世帯では、子どもの年齢差やタイミング等の問題で恩恵を受けられない不公平感がある。第三子以降の保育料の考え方等については、市階層区分や該当世帯数から

今後の見込み等を勘案し、市民に理解を得られる施策を。

市長の政治姿勢 ～西鉄新栄町駅周辺の再開発～

- 問** 課題はあるが、所有者が前向きなうちに行政としての支援を決断すべき。今後の判断がまちづくりの起点になると思うが、市長の見解は。
- 答** 市街地活性化のため、再開発準備組合や西鉄等と連携を図りながら、事業が早期に実現できるよう支援を行っていききたい。

一般質問



動画視聴



民主・護憲クラブ
櫻井 ちはる 議員

多子世帯の保育料の軽減

問 多子世帯の保育料の軽減を実現するために、費用はどの程度必要なのか。

答 本市独自で子供の年齢に

よらず、多子世帯の保育料負担の軽減を行う場合は、年間約7,000万円の予算がさらに必要と見込まれる。

将来的に必要な 庁舎機能の精査

問 第3回の審議会で報告された新庁舎の規模、約19,000平米は、妥当な面積か。

答 効率的な市民サービスの提供や業務の効率化を図るには、機能的でコンパクトであるべきと考える。書類の廃棄やデジタル化を継続して進め、

床面積の削減に努めたい。

問 約130億円を超える工事費はこれ以上膨らまないのか。

答 工法上の工夫や、工期の短縮などに有効な事業手法を選択し、物価上昇に係る影響を可能な限り少なくするよう努めたい。

併せて、新庁舎の規模についても、基本計画、基本設計など、各段階で精査を行い、過大とならないよう注意を払っていく。

再発言 未来の市民の負担にならないよう、注視したい。



動画視聴



自由民主党市議団
山口 雅夫 議員

新庁舎整備事業について

問 駐車場を新設する場合も、立体駐車場にこだわるのか。

答 利便性や整備費用を勘案しながら検討していきたい。

問 コストを抑えた広く使い勝手のよい平面駐車場の整備を提言するが、見解は。

答 都市計画公園との関係等も含め、考えていきたい。

問 都市公園法第16条第1項に、都市公園の廃止を可能とする法的根拠がある。笹林公園の利用申請については、市職員等の社会人ソフトボールチームが7割、それ以外が3割である。市民の利用状況からも、笹林公園廃止の影響は少なく、広い平面駐車場を整備することが利便性の向上に

つながると考えるが、見解は。

答 県へ相談をしたが、廃止事例がない。笹林公園と同規模の代替公園が必要と考える。

問 根拠法令に基づく具体案を示した上で協議をしたのか。

答 その前提ではしていない。

問 具体案を示さなければ、県も認めないはずだが。

答 公園廃止の検討は難しい。

再発言 どうやったらできるのか考えることを怠っている。静岡市では庁舎整備検討の際、都市公園を廃止した事例もあり、市の見解は極めて遺憾だ。



動画視聴



自由民主党市議団
森 遵 議員

人口減少・少子化問題に しっかりと取り組み、将来 世代への責任を果たそう

問 令和6年1月から5月までの出生数は190人であり、本年1年間の出生数は昨年よりさらに低下すると思うが、人

口減少対策について伺う。

答 国のこども・子育て政策の抜本的強化に適切に対応し、子ども医療費や学校給食費等の負担の軽減、学童保育所の待機児童ゼロの実現など、本市独自の取組を進めている。あわせて、ICT等を活用した教育、小中一貫教育の推進など、特色ある教育環境の充実にも取り組んでいく。

問 若者が輝いているまちは人を引きつける、呼び込む力があると思うが、大牟田わかもの会議を今後どのように継

続、維持発展させていくのか。

答 令和7年度からは企画から運営まで、わかもの会議メンバーで主体的、自律的に活動してもらうことを目指している。今後のまちづくりにおいては、次代を担う若者の参加が重要であると捉えており、今後も大牟田わかもの会議の活動に対して適切なサポートを行っていきたい。

再発言 メンバーの実際の活動のさまを大牟田市の大きな魅力の一つとしてうまく発信されたい。



動画視聴



無所属
崎山 恵子 議員

訪問介護の報酬引下げを撤回し、報酬引上げを

問 高齢者の生活を支える訪問介護サービスの報酬が引下げとなった。登録ヘルパーは人手不足で、給与は出来高払

いとなっているが、事業所側ではそういう雇い方しかできないと聞く。報酬引下げにより、今後、事業所閉鎖の加速が懸念されるため、報酬引下げの撤回と報酬の再改定を国に求めるべきではないか。

答 訪問介護報酬がマイナス改定となった一方、新たな介護職員等処遇改善加算が開始され、訪問介護の加算率は大幅に引き上げられた。今後の状況等を注視したい。

再発言 ヘルパーへの加算はあるが、事業所運営には基本

報酬が関係するため、3年後の改定ではなく、国に報酬引下げの撤回を求めるべき。

オスプレイの飛行について 住民説明会を

問 市民は、本市上空が飛行ルートに入るため、説明会を求めているが、開催の考えは。

答 広域的な問題であることから、国の責任で行うべき。

再発言 市と国は対等な関係であり、地方自治体として住民の命を守るという役割の責任放棄ではないかと考える。

園児からの贈り物

6月の第2日曜日の花の日にあわせて、高取聖マリア幼稚園の園児から、正副議長が議会を代表して花束と手紙をいただきました。子供たちの元気な声、笑顔に癒され、議員一同、改めて子供たちの将来を見据えたまちづくりを頑張らなくてはならないと感じたところです。



行政視察受入実績

行政視察受入
(4月～7月)

月	日	都道府県	団体名	視察項目
4	23	東京都	狛江市議会	・認知症ケアコミュニティ推進事業
5	8	鳥取県	米子市議会	・単身高齢者の住まいの確保
5	14	長崎県	西海市議会	・適応指導教室における学校給食の実施状況
5	15	島根県	松江市議会	・まちなかの活性化に向けて
5	16	愛媛県	松山市議会	・奨学金返還支援事業
5	17	島根県	出雲市議会	・校区まちづくり協議会 ・農産物直売所
7	4	福島県	喜多方市議会	・防災・減災の取組
7	8	広島県	東広島市議会	・広域連携による観光振興の取組等
7	9	茨城県	下妻市議会	・認知症ケアコミュニティ推進事業
7	10	佐賀県	鹿島市議会	・SDG sの取組 ・ESD推進事業
7	22	埼玉県	越谷市議会	・令和2年7月豪雨における内水氾濫、浸水災害からの復旧と災害対策の取組
7	31	千葉県	流山市議会	・大牟田ESDコンソーシアム

インフォメーション②

■次の定例会は9月です

詳細については、議会事務局(41-2800)までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

スマートフォン等でも議会中継(生中継・録画中継)が視聴できます。



高嶋選手 銅メダルおめでとう



パリ2024五輪フェンシング女子サーブル団体で銅メダルを獲得した高嶋理紗選手が、8月16日に玉川小学校へ凱旋報告のため来校されました。議会を代表して、議長から花束を贈呈しました。

議会報告会・意見交換会を開催しました

市民の皆さまからの御意見をお聞きする議会報告会・意見交換会を毎年実施しており、今年度は以下の日程での開催を進めています。

- 8月1日 大正小学校 ミーティングルーム
- 8月3日 おおむたアリーナ 会議室
- 8月28日 勝立地区公民館

今年度は、市内を2年間で回る取組の2年目として、南部地域をメイン会場に、昨年度に引き続き、「議会の仕組み」と「大牟田の産業」をテーマとして、報告・意見交換を実施しました。

今号では、発行スケジュールの都合により、8月1日及び3日にいただいた御意見を速報として掲載しており、今年度いただいた御意見の状況等は改めて掲載する予定です。

また、10月頃を目途に市内の学生との意見交換も予定しており、その内容もあわせて掲載します。

● 8月1日及び3日に伺った意見（概略）

（議会の仕組み）

- ・ 議会で発案した条例案について
- ・ 議会報告会の回数について

（大牟田の産業）

- ・ 新しい産業団地について
- ・ 産業フェスタの成果について
- ・ 企業誘致について
- ・ 農業振興について

（その他）

- ・ 子育て環境の充実について
- ・ 教育の課題について
- ・ 市庁舎の整備について
- ・ 新栄町・大牟田駅西口周辺の再開発について
- ・ 検診事業の内容について
- ・ 移住・定住について
- ・ 校区まちづくり協議会について
- ・ 市民が直接市に意見を伝える場の開催について



大牟田市議会では、例年、1万人の総踊りに参加しており、今年度も全議員が参加しました。

年々暑さが厳しくなっているように感じますが、次年度以降も、まつりを盛り上げるため、熱中症に注意をしながら総踊りに参加をしていきます。



編集後記

春からおおむたアリーナの供用が開始され、議会報告会でも使用しました。これまで以上の広さ・利便性等の向上が図られ、大変多くの市民に喜ばれています。今後は、プロや実業団等による大会も開催される予定ですので、市内外から多くの方に訪れていただき楽しんでほしいと思います。（M）

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】大野哲也 【副委員長】北岡あや
【委員】光田茂 山口雅夫 櫻井ちはる

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880
E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社 江崎印刷所